

徳島県総合計画審議会「若者クリエイティブ部会」会議録

I 日 時 平成26年4月30日(水) 16:00～17:00

II 場 所 県庁10階 中会議室

III 出席者(敬称略)

【委員】10名中 6名出席

青木正繁(部会長)、福島明子(副部会長)、
川眞田彩、樋泉聡子、池添純子、竹内祐介

【オブザーバー】10名中 9名出席

板東純平、高木和久、山下哲央、島知佐、
小原和浩、蔵本聖子、松本秀明、石井里奈、釋子由香梨

【県】

政策創造部長、総合政策課長 (ほか)

IV 次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 新総合計画策定方針について

(2) 若者クリエイティブ部会の役割について

3 閉 会

《配付資料》

資料1 新たな総合計画の策定方針

V 意見交換

(事務局)

ただ今から、「若者クリエイティブ部会」を開催いたします。

まず、妹尾政策創造部長より御挨拶申し上げます。

(妹尾政策創造部長)

担当部長の妹尾でございます。昨年に引き続き今年もよろしくお願いいたします。

本日は、委員、オブザーバーの皆様には大変お忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。

本日は、現行の総合計画「いけるよ！徳島・行動計画」が、今年度、計画期間の最終年度を迎えることから、平成27年度からの新たな総合計画に係る策定方針についてということと、若者クリエイイト部会の皆さんにお願いすることを御説明をさせていただければと思っております。

皆様におかれましては、忌憚のない御意見・御提言を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

それでは、この後の議事進行につきましては、青木部会長、よろしくお願いいたします。

(青木部会長)

それでは、早速、議事を進行してまいります。さて、本年度は、現行の「いけるよ！徳島・行動計画」が最終年度を迎えることから、新たな総合計画の策定作業に着手されるということであり、クリエイイト部会としても、総合計画審議会の部会として、積極的に関わっていきたいと考えております。

去る4月23日開催の「宝の島・とくしま創造部会」では、「新たな総合計画の策定方針」が了承されたこととありますが、まず、事務局から「新たな総合計画の策定方針」等について説明をお願いしたいと思います。

(事務局)

お手元に資料1と右肩にふっております「新たな総合計画の策定方針」と、その後ろにカラー刷りの「次期総合計画策定スケジュール(案)」という資料がございますでしょうか。それに基づいて御説明をさせていただきます。

今、青木部会長から御説明がございましたように、この資料は先週23日に「宝の島

・とくしま創造部会」に事務局から提出し、御了承をいただいた資料となっております。改めて、当部会におきましても説明をさせていただきたいと思っております。

まず、「新たな総合計画の策定方針」でございます。

まず、「Ⅰ 計画の概要」でございますが、計画の趣旨といたしましては、本県を取り巻く環境の大きな変化の中で、県民の皆様がいきいきと働き、安心して暮らしていくことのできる徳島県に向けての羅針盤としての新たな総合計画を策定するという大きなところを書いております。

具体的な計画の構成といたしましては、こうした中で、徳島県の現状や課題を的確に把握した上で、まず「2050年頃の目指すべき目標・将来像」の長期ビジョンを描きつつ、その未来へ向けて、「10年程度先を見据えた基本政策の方向性」の中期ビジョン、及び平成27年度から30年度までの「今後4年間の主要施策」と、この三層構造というかたちを新たな総合計画においても取ってまいりたいと考えております。

「Ⅱ 策定手法」でございますが、まず、「1 県民意見の反映」というところで、4年前の現計画の策定時におきましても、様々なアンケート、シンポジウム等を行いましたが、今回もそういったことを行いながら、さらに今回の特色といたしまして、明日を担う若者の意見を積極的に取り入れてまいりたいと考えておるところでございます。まさにここが当部会とリンクするところかなと考えております。具体的には、「SNSの活用」ということを特に積極的にやっていきたいというところで、また後ほども御説明いたしますが、こういったことで県民の意向を計画に反映してまいりたいと考えているところでございます。

二番といたしましては、「大学との協働」ということで、特に2050年ですとか、10年先を見据えるにあたっては、行政だけではなかなか見通しを立てることができないということがございますので、本県と包括協定等を締結しております県内外の大学から専門的な御研究をされている方等の知見を活用いたしまして、反映していきたいというふうに考えております。

また、先ほどの若者意見の聴取という中では、当然、大学生を活用するということが重要になってまいりますので、そういった面でも大学の方に御協力をお願いするということでございます。

三番目が「総合計画審議会」ですけれども、従来どおり、総合計画審議会での御意見、御提言を最終的に反映するというところでございます。特に、先週ありました「宝の島・

とくしま創造部会」が審議の中心ということですが、さらには、「若者クリエイト部会」におかれましては、特に若者意見の聴取ということで主体的に御担当いただこうと考えているところでございます。

四番目が「県議会」でございますが、県議会につきましても、当然、御論議をいただきながら全議員勉強会の開催等を通じて、意見を反映していくということを考えております。

五番目の「庁内策定体制」でございます。これは県庁内部の話ですが、関係部局からなる「プロジェクトチーム」を4月10日に立ち上げて、連携をして計画策定にあたっているところでございます。

「Ⅲ 策定スケジュール」の大まかな内容といたしましては、4月に策定方針が決定となりまして、5月から7月ということで、明日からですが、県民意見の聴取ということで、集中的にこの期間に意見聴取を行いたいということで、フェイスブックの立ち上げですとか、アンケートの実施等を行ってまいりたいと考えております。

それを踏まえまして、7月頃から年度末2月頃までかけまして、素案ということで、長期、中期というところを中心に検討してまいりまして、3月には一つのかたちとして、総合計画の素案というかたちを取りまとめたいと考えておるところでございます。

最終的な策定につきましては、現行の計画が翌年の7月でしたので、今回もそのあたりをにらみつつとなりますが、まだ、そこらへんの詳細は詰まってないところでございます。

具体的には、二枚目の「次期総合計画策定スケジュール（案）」を御覧いただきたいと思っておりますけれども、これはあくまでも現在のイメージとして参考にお示ししておりますが、左側に大きな流れで意見反映ということで、5月頃から夏過ぎにかけていろいろなことをやっていくという中で、8月頃に「長期ビジョン」骨子案、さらに10月頃に「長期ビジョン」素案と「中期ビジョン」骨子案、さらに年末には「中期ビジョン」素案と、4年間の「行動計画編」骨子案というようなことで、段階的な策定を進めまして、3月に先ほど申しましたように、素案というかたちで何らかのかたちを取りまとめると。それで平成27年度に入りますと、また、「宝の島・とくしま創造部会」ですとか、「総合計画審議会」を開催いたしまして、最終的に議会に議案として提案するという流れを考えているところでございます。

その中で、当部会におかれましては、右側にありますが、「若者クリエイト部会①」

とありますのが4月30日、本日でございますが、この後、県民意見の聴取等を行いながら、夏頃に次回を開催いたしまして、何らかの報告をいただくというようなことを考えております。

資料1の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

(青木部会長)

ありがとうございました。

ただ今の説明にありましたように、「若者クリエイト部会」としては、SNSを活用した「若者意見の聴取」などを担うということですが、具体的な手法について、事務局から説明をよろしくお願いいたします。

(事務局説明)

それでは、引き続き説明いたします。

資料はフェイスブックページのイメージのペーパーがあると思いますが、それを御覧いただきたいと思います。今申しましたように、クリエイト部会の皆さんの役割といたしましては、「若者世代の声の取りまとめ」というところを主体として行っていただきたいということでございまして、具体的には、今も申し上げましたが、2050年、あるいは10年後というところの意見を県民の皆様から募集をかけていく中で、クリエイト部会の皆さんにも、御意見をいただきたいと考えているところでございます。

特に、申しましたように、「SNSの活用」ということを新たな手法としておりまして、具体的には、明日、5月1日からフェイスブックのページを立ち上げるということになっております。そのイメージがお配りしているペーパーのかたちになっているところでありますけれども、そこに具体的な質問を募集する中で、部会の皆さんにも御意見を投稿いただきたいと考えているところでございます。

「SNSの活用」ということで、特に、携帯やスマートフォンなどを日常的に使用されている若い世代からの御意見がどうしても多くなるのかなと考えておりますので、若者意見の聴取の最大のツールとしてこれを活用したいと考えております。

そこで、当部会の皆さんには、明日のページ立ち上げ後、率先して御意見の投稿などをいただきながら、周りの方々、御友人、職場の方々などにも、このページを宣伝していただきまして、どんどん意見を盛り上げていっていただきたいというところでござい

ます。

なにせ我々も初めてやることですので、従来のスタイルにこだわらず、SNSの特徴を生かした意見聴取にできればと思っておりますので、この場を徳島の未来を真剣に語る場として盛り上げていただくように、皆様方の積極的な御協力をお願いしたいと考えておるところでございます。

次にもう一点ですが、こういうかたちでいろんな意見を聴取する中で、皆様方には、特定の分野において、先ほど申しました、中期の「10年後の徳島の姿とか課題」というものについて、御研究をいただきたいと考えておるところでございます。

研究分野担当一覧というペーパーがあると思いますが、皆さんには10年後の徳島の姿につきまして、若者世代の意見を取りまとめていただくことを考えておりました、現行「いけるよ！徳島・行動計画」に基本目標が七つございますが、これに基づきまして、お一人ずついずれかの柱の方に振り分けをさせていただいております。そういうかたちで各柱をグループで御担当いただきまして、その基本目標についての、現状、課題ですとか、10年後を見据えたものといったことを御意見としていただきたいと考えているところでございます。

これまでのこの部会での活動なども踏まえまして、基本目標の内容とか、あるいは施策体系、取組内容など、また、10年後に何を目指すべきかとか、そういったことなどにつきましても御自由に御意見をレポート形式で、今のところ6月中というようなところで期限を切らせていただきまして、御提出していただければなと考えておるところでございます。

これは、これから御議論いただくものと思っており、事務局ベースとしてそういった案をお願いしたいということでございます。一覧表ということでお配りしておりますので、これを参考に御議論をいただけたらと思います。

当部会の皆様方には、以上につきましてお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

(青木部会長)

ありがとうございました。

説明にもありましたように、まずはフェイスブックを活用した意見聴取は初めての試みということで、我々クリエイイト部会としても若い世代の皆さんの意見を引き出せるよ

うに盛り上げていきたいと思しますので、皆さん、御協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

フェイスブックに關しまして、正直、私も詳しいわけではないし、多分メンバーの中で一番詳しいのは竹内さんだと思ひますので、竹内さん、今の御意見を聞いていただき、フェイスブックの活用法の上手いやり方というか、「こうした方がいいよ」というポイントみたいなものを少しざっくばらんでいいのでお話しただければなと思ひますけれども。

(竹内委員)

実は僕もこの話は事務局から何度か御相談をいただひいて、何度か打合せもさせてもらって、今このページの立ち上げにきたという状態だと思ひますけれども、若者クリエイイト部会のみんなで是非やってほしいのは、やっぱりちょっとでもみんなに知ってもらおうということで、一番わかりやすいのがフェイスブックで「シェア」というのがあるんですけど、自分のページで「こういうページがあるよ」というのを紹介する機能があります。「シェア」という機能を使うと、例えば、僕の友人がこれを見て、このページにたどりついて、徳島県の人だったら「このページをちょっと見とこうかな」と思っただ人は「フォロー」をすると、このページの情報が常に僕の友人のページで見ることができ、タイムラインに表示されるということになります。

なので、知ってもらわないことには何も始まらないので、ちょっとでもみんなに知ってもらえるように、最初一回目は絶対にまず「シェア」してもらって、状況を見て場合によっては、二回、三回「シェア」するといひかなと思ひます。

あと、フェイスブックに限らず、口頭で、フェイスブックをされてない方でも、御友人がフェイスブックをやっている場合もあると思ひるので、そういう場合は、口頭でも「こういうページが立ち上がったらしいよ」と伝えればいいのかなと思ひます。

あとは、「お題」がいくつあるので、「お題」ってトップバッターで答える人というのはなかなか敷居が高くなってしまふので、そこを若者クリエイイト部会のメンバーがサクじゃないですけれども、最初の一つ、二つというのは答える。それで、できるだけ難しくなりすぎないように、次の二番目、三番目の人の敷居を上げてしまわないような方がいいのかなと思ひます。

あとはちょっと正直なところ、こういうものってやってみないとわからないところが

多々ありまして、やってみたら爆発的にヒットする可能性もあれば、まったく書き込んでくれない可能性も多々あります。あと、ここでけんかが始まって、いわゆる「炎上」といわれているものになってしまう可能性もあります。

そういうのは、やってみないとわからないので、むしろやってから考えるので全然問題ないかと思えますので、最初のうちはしっかり様子を見守って、怪しげな方向に行かないようにしっかり軌道修正していくということでもいいのかなと思います。

(青木部会長)

ありがとうございます。

樋泉さん、補足で今の意見に何かプラスアルファでアドバイスがあれば。

(樋泉委員)

そうですね。私も「シェア」をしていくことなのかなと思います。それで「いいね」が増えることが、やっぱり「フォロワー」が増えていくということになるので、地道に「シェア」していくことなのかなと思います。

(青木部会長)

ありがとうございます。

まず、お二人の意見を総合すると、一番は知ってもらうために「シェア」をしようよと。それで、一回じゃなくて、二回、三回やっていこうよという御意見ですね。

二つ目が、回答をハードルをあまり上げないで、わかりやすく、なおかつハードルを上げないようなコメントを、やっぱり一番はやっぱり福島さんぐらいにしてもらって。

ちなみに皆さん、フェイスブックはこのメンバーは全員しよんかいな。ざっくばらんに聞きますけれども。

ここからはざっくばらんにいきますから。してないのが3名。竹内さん、こういう場合はどういう手法を使えばいいですか。逆にしていない人は当然登録しないと参加はできませんよね。

(竹内委員)

そうですね。見ることはできたのかな。

(蔵本オブザーバー)

全員に「公開」を選んでいたら見ることはできます。

(青木部会長)

事務局さん、これは全員「公開」なんですか。

(事務局)

「公開」です。

(青木部会長)

「公開」なので見れるという解釈で・・・

(竹内委員)

見えないかもしれない・・・

(板東オブザーバー)

見えても書き込めないですよ。

(竹内委員)

書き込むのは少なくとも無理です。

(青木部会長)

見えても書き込めないという解釈やね。そしたら、仮にしていない3名の皆さん、池添さん、登録しますか。高木さん。

(高木オブザーバー)

素人の質問で申し訳ないんですけど、これはパソコンでもできますか。

(青木部会長)

これは庁舎内でもしていいということで、よろしいですかね。

(事務局)

大丈夫です。手続きをしておきます。

(青木部会長)

大丈夫でございますので。釋子さんも、フェイスブックを推進していきたいので、また御検討をよろしくお願ひしたいと思ひます。池添さんもよろしくお願ひしたいと思ひます。

フェイスブックに関してほかに皆さん、ざっくばらんでいいので何か御意見ございませうでしょうか。

(福島副部会長)

今見た情報によると「アカウントなくても見られるよ」ということです。

(青木部会長)

見ることはできるけど、書き込みができない、「いいね」が押せないという解釈でいいんですね。わかりました。皆さん、そういう解釈になりますので。3人さん以外は皆さんしているんでしょうよね。小原さんしよんですか。

(小原オブザーバー)

一応、入ってないけどあります。

(青木部会長)

僕は入ってませんよね。僕はざっくばらんにいきますから是非お願ひしますね。

強制力はないのであれですけど、できるだけ皆さんしてくださいね。お願ひをしたいと思ひます。

では、今の御意見を総合して最後、まず知ってもらおうということで、明日からアップするということです、明日から随時、皆さんシェアをしてPR活動をまずしていただければと思ひます。

明日ちなみにアップの時間とかそういうのがあるんですか。竹内さん。これは事務局が公開したら見られるということでもいいんですか。

(竹内委員)

事務局が「公開」とした瞬間に見られると思います。

(事務局)

明日8時30分頃に公開します。

(青木部会長)

では、明日アップされますので、皆さん今言われたとおり、シェアをまずしていただいて、広くPRに努めていただくということにしてください。

それと、コメントに回答をしなければいけないということですので、これは福島さんあたりからハードルをあまり上げないようにしていただいて、それで皆さんも御意見を一つ入ったら意見をどんどん書き加えてくださいね。よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、フェイスブックに関しては、ほか何か御意見はございませんでしょうか。これに関してはよろしいですか、皆さん。

では皆さん、御協力のほどよろしくお願ひいたします。

続きまして、基本目標の研究分野についてなんですが、事務局案のとおりでよろしいでしょうか。皆さん、担当が分けられてますので、「どうしてもここをちょっと、こっちの基本目標でなしに、こっちがしたいわ」みたいな。いいですかね。よろしいですか。はい。では、一応、事務局案のとおりで異議がなければ、そのとおりとさせていただきます。

なお、この研究成果については、次回の部会でグループごとに発表していただきますので、これ皆さん、課せられてますので「ちょっとレポートちょこっと書いたらええわ」と思ったら大きな間違いですよ。プレゼンを課めますので。次回、グループごとに発表していただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

ではここで、じゃあグループごとと言われても、やっぱりいろんな打合せ等が必要かと思ひますので、今から急遽少し時間をとります。グループごとに分かれていただいて、1から7までありますので固まっていたいただいて、グループごとで話をしてください。

(福島副部会長)

ちょっとその前に、これでももちろん私も異存はないんですけども、ちょっと今これ

を拝見して思ったことが何点かありまして、事務局に対する質問をさせていただけたらと思います。

まず一つ目なんですけれども、枠組みというのは現行のままなさる御予定かなというのがちょっと疑問に思っております、「基本目標」、「重点戦略」があってその下に「行動計画」があるかと思うんですが、「行動計画」のところについては、そんなに大きく多分現状と変わらなくて、必要なところだけ埋めていくというところが、これからのステップアップのところかと思うんですが、多分、若者の視点というのをここに入れていきましょうということの重要性というか、なんかこのある意義というのは、もしかしたら「重点戦略」のところの項目に何かプラスできることがあるのではないかなというような気がしております。

それで、「重点戦略」が変わりますと、「基本目標」のところも、もしかしたら冠としては名前が変わっていったりするかと思うんですが、そのあたりをこの冠ありきで検討をずっと行っていくのか、または、現状でこれに該当するやろうなという分野の中で課題を洗い出すとか、本当にこれは必要だというところをピックアップしていくとかというのをボトムアップして行って、「重点戦略」にして「基本目標」までもっていくというようにするのか、どちらの方針でいったらいいのかなというところがちょっと疑問に思っています、そこをクリアにさせていただけると、とてもやりやすいんですが。それもここで検討すべきことかもしれないけれども。

(事務局)

とりあえず今の7本柱に形式的には分けておりますけれども、最終的にこのかたちを踏襲するというようなことはまだ今のところまったく白紙の状態です。

ですから、今、福島先生がおっしゃったように、10年先を見据えてこういった課題があるだろうということであれば付け加えていただくなり、ある程度柔軟に広げていただいてもいいのかなと思っておりますので、あまりこの「重点戦略」の枠内にとらわれるということではなくて、例えば、基本目標1「にぎわい・感動とくしま」であれば、10年先の「にぎわい・感動」、あるいは「地域の活性化」といった視点から、こういったことが必要であろうというような積み上げで議論いただいても十分結構かと思っておりますのでお願いいたします。

(福島副部長)

ありがとうございます。

(青木部長)

ほか何かちょっと質問というか、この研究のことに関して何かございますかね。でないと進めてしまいますので。

(竹内委員)

アウトプットってどんなかたちなんですか。分析までなんですか。それとも分析した上での提案みたいなところになるんですか。

(事務局)

便宜上、今回、今の7本柱で御議論いただくんですけども、最終的にいただきたいのは、御意見、御提案の部分までいただけるのであればありがたいなと思っております。

(青木部長)

ありがとうございます。ほか何かちょっと御質問等ございますかね。よろしいですか皆さん。いけますか。では、今の二つの御質問等を踏まえていただいて、このグループの一覧に従いまして、少し打合せの時間をとりたいと思いますので、1から7まで七つの班に分かれておりますので。打合せの中でリーダーだけ決めとってほしいと思います。二人の班もあるんですけども、取りまとめるのが誰かというのだけ後で報告してもらいますので。「リーダー、あなたがする、私がする」とか、「今度いつ集まる」とか「メールでやり取りする」とかいうところまで決めていただければと思います。

次回の部会の際の発表の形式なんですが、これは事務局とも話はしてないんですけども、1から7までありますので、10分ぐらいで手法は各班にお任せします。例えば、プレゼン形式でパワーポイント使ってやるとかでもいいし、パネル使ってやるのもいいし、口頭だけでやるのもいいし、それは各班にお任せしますので、持ち時間は一応10分で考えていただければなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それと同時に、先ほど事務局から説明があったとおり、レポートも班で一つですね。個人で全部出すのではないです。班でまとめて一つを出していただくというかたちになりますので、それは後でまた説明しようと思つてたんですけど、メーリングリストで6

月中に提出をお願いしたいという流れになろうかと思しますので、今日、皆さん集まっていますので、今から時間を15分、20分ぐらいとりたいと思しますので、少し班で集まってもらって、席はかわってください。少しブレイクしながら御議論を各班でしていただければなと思えます。皆さんよろしいですか。自由にどうぞ動いてください。今から各班でディスカッションです。

(各班で打合せ)

(再開)

(青木部会長)

皆さんどうですかね。だいぶ打合せできましたか。ファーストコンタクト等が必要だったと思えたので。今お互い読み込んでいませんので、深い議論というのはなかなか難しいと思えますので、「次回、じゃあ集まってどうする」とかメールの交換とか、そういった打合せの態勢がとれたかと思えますので、皆さん時間よろしいですかね、そろそろ。もうちょっと時間が必要という班あります。よろしいですか。

(高木オブザーバー)

これってすべてのことにかかってくると思うんですけど、先ほど「分析だけではなくて提言も」という話があったんですが、計画自体、多分現状の分析というのは、人口統計とかいろいろ分析されると思うんですけど、あまり最終形が見えてないのでどういのを求められているのかというのが、最終的に計画のどこに我々の書いたレポートとか意見が反映されるようなイメージを持てばいいんですか。

(事務局)

今お願いしている柱の部分というのは「中期ビジョン」、10年後の部分について、今の「いけるよ！徳島・行動計画」でも現状のかたちで七つのカテゴリーに分けてやっているわけなんですけど、今のそれぞれの基本目標については、これまで4年間、そういう目標を立ててやってきているというのが計画の中身を見てもらったらわかると思えますので、それぞれの目標の中身とか成果なども参考にしながら、その目標が妥当だったかどうかというような部分もあるかと思うんです。中身によって。この四年間での成果も計画を見てもらったら載っていますので。そこらの目標の立て方、中身といったものに

ついて、現状から目標を見て、達成状況なんかも含めてそれぞれの目標についてどう思うかというところが現状からの分析というところと、あと、10年後を見据えた場合に、七つ分野がありますけれども、10年後だったら目指すところが今の7本柱とはまた違ってくる部分もあるかと思うんですよ。ですので、10年後を見据えた場合の分析というのは、今回、フェイスブックで2050年の徳島県のこうあったらいいなみたいなものもお願いしているんですけども、そこを見据えた場合に、10年後には徳島県としてどういう姿にそれぞれの分野でなっとらなあかんかと。今七つに分かれている目標が、それぞれ2050年を見据えた場合に、10年後にどんな感じになっていないといけないうのかといったような観点から、今の目標の内容で十分なのか、2050年を見据えた場合に何か不足しているものがあれば何が足りないのか、といったようなかたちで分析いただけたらなというふうに思っております。

今の七本柱で分析いただくというのは、あくまで便宜上、現行計画のカテゴリーを利用してそれぞれ分析いただくということなんですが、次期計画が今の七つの柱でいくかどうかということも今のところ未定ですので、取っ掛かりといいますか、分析の材料としては現行計画の七つのカテゴリーでお願いしたいと、それで、なおかつ、それは、今の現状でどうなのかということと、あと、2050年を見据えた場合に、10年後にどういう目標の内容であるべきかということ进行分析いただきたいということです。

(高木オブザーバー)

2050年というのは、示されるのは後の話なんですか。

(事務局)

いろいろ皆さんの思いもあると思うんですけど、県民の皆さんからもこうあってほしいという意見は別にいただきますし、そういった御意見もある程度整理したうえで、次の部会で御議論いただこうかなというふうに考えております。

今のところ、研究の対象として、現行計画の七つの基本目標をもとに分析いただきたいということです。

(高木オブザーバー)

分析というのは統計的な分析じゃなくて、計画の中身の分析みたいなことですか。

(事務局)

現行計画もこれまで進めてきて成果も挙がってきていると思うんですが、そのそういった部分も見た上で今の基本目標がどうなのかということについて御意見をいただき、次の中期ビジョンを立てるときの参考にさせていただきたいということです。

(青木部会長)

それでは皆さん、班ごとの御議論はよろしいですか。それでは、リーダーを決められたと思いますのでリーダーだけ教えてください。

(※各班からそれぞれ次のとおり報告)

- 1 「にぎわい・感動とくしま」・・・未定
- 2 「経済・新成長とくしま」・・・竹内委員
- 3 「安全安心・実感とくしま」・・・蔵本オブザーバー
- 4 「環境首都・先進とくしま」・・・板東オブザーバー
- 5 「みんなが主役・元気とくしま」・・・池添委員
- 6 「まなびの邦・育みとくしま」・・・福島副部会長
- 7 「宝の島・創造とくしま」・・・未定

(青木部会長)

では、大体決まりましたので、それでいきたいと思います。

それではリーダーも決まりましたので、決まってないところは早急にまた事務局に御報告をよろしくお願いします。

レポートに関しましては再度確認なんですけども、メーリングリストにて6月中に各班のレポートを提出いただくと。それと、次回の部会の際に、各7チーム、10分ずつでまとめをプレゼン、発表をしていただくということでございますね。よろしくお願いいたします。

次に、最後「その他」ですが、何でも結構でございますので、この際、何か発言したいことがございましたら、皆さんどなたからでも結構ですので、お願いしたいと思います。特によろしいですか。このプレゼンだけがちょっと不安だという顔が皆さん見えますけれども、皆さんならできるとお思いますので、しっかりとよろしくお願いいたします。

すね。

それでは、このあたりで意見交換を終了したいと思います。

次回の開催についてですが、今年度前半は計画策定作業に携わる関係から、部会の開催日程、議事については、作業全体の進捗状況を念頭におきながらの調整とさせていただきます。次回は7月頃の開催としたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。つまり、レポートを提出して、集まってもらったときに発表をしてもらうという流れでお願いできればと思います。

それでは、そのようにさせていただきます。

最後に事務局から何かございますか。

(事務局)

本日の会議録につきましては、事務局で取りまとめた上、皆様に御確認いただき、御発言者名も入れて、公開したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

(青木部会長)

事務局から説明がありましたとおり、本日の会議録の取り扱いについては、事務局の説明のとおりとさせていただきます。よろしいでしょうか。

それでは、そのようにお願いしたいと思います。

これで、本日の議事はすべて終わらせていただきます。議事運営に御協力いただきまして、皆さんありがとうございました。

(事務局)

最後に、妹尾政策創造部長が御挨拶申し上げます。

(妹尾政策創造部長)

最後に簡単ではございますけれども、青木部会長さんをはじめ部会のメンバーの皆様には、何かとお忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。

部会の皆様には、次期総合計画の策定に向けまして、今後とも御協力をよろしくお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。どうぞ、これからもよろしくお願いいたします。

(事務局)

以上をもちまして、本日の若者クリエイト部会を閉会させていただきます。
皆様、大変ありがとうございました。

(以上)